

第 4 次 地 域 管 理 経 営 計 画 書
第 4 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書

(五ヶ瀬川森林計画区)

(第 3 次 変 更 計 画)

計 画 期 間

自	平 成 2 6 年 4 月	1 日
至	平 成 3 1 年 3 月	3 1 日

(平成 3 0 年 3 月 変 更)

九 州 森 林 管 理 局

第4次地域管理経営計画書

(五ヶ瀬森林計画区)

(第3次変更計画)

計画期間

自 平成26年4月 1日

至 平成31年3月31日

(平成30年3月変更)

九州森林管理局

地域管理経営計画の変更について

[変更理由]

保護林制度の改正について（平成27年9月28日付け27林国経第49号林野庁長官通知）により保護林の種類が変更されたこと、また、レクリエーションの森が廃止されたことに伴い、国有林野の管理経営に関する法律（昭和26年6月23日法律246号）第6条及び国有林野管理経営規程（平成11年1月21日農林水産省訓令第2号）第6条第9項に基づき、変更するものである。

国有林野の機能類型ごとの森林施業の方針等を定めた「管理経営の指針」（別冊）について、森林施業の変更等により見直しを行うことから、併せて変更する。

なお、本変更計画の効力は、平成30年4月1日より生じる。

1. 現行計画（平成26年3月策定、平成27年3月変更、平成28年3月変更、計画期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日）の変更内容

- (1) 「1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項」の「(1) 国有林野の管理経営の基本方針」の「①森林計画区の概況」を上記理由により変更する。
- (2) 「1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項」の「(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項」の「① 山地災害防止タイプにおける管理経営の指針その他山地災害防止タイプに関する事項（山地災害防止タイプの面積）、③ 森林空間利用タイプにおける管理経営の指針その他森林空間利用タイプに関する事項（森林空間利用タイプの面積）」を上記理由により変更する。
- (3) 「2 国有林野の維持及び保存に関する事項」の「(3) 特に保護を図るべき森林に関する事項」の「①保護林」を上記理由により変更する。
- (4) 「4 国有林野の活用に関する事項」の「(1) 国有林野の活用の推進方針」の「①レクリエーションの森」を上記理由により変更する。

なお、「1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項」の「(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項」の「管理経営の指針」（別冊）を上記理由により変更する。

目 次

1	国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(1)	国有林野の管理経営の基本方針	1
①	森林計画区の概況	1
(2)	機能類型に応じた管理経営に関する事項	2
①	山地災害防止タイプにおける管理経営の指針その他山地災害防止タイプに関する事項	2
③	森林空間利用タイプにおける管理経営の指針その他森林空間利用タイプに関する事項	2
2	国有林野の維持及び保存に関する事項	2
(3)	特に保護を図るべき森林に関する事項	2
①	保護林	2
4	国有林野の活用に関する事項	3
(1)	国有林野の活用の推進方針	3
①	レクリエーションの森	3

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(1) 国有林野の管理経営の基本方針

① 森林計画区の概況

ア 祖母傾大崩山地区（2001、2002、2007～2080、2100～2123、2125～2133林班）

傾山(1,605m)から祖母山(1,756m)へ東西に連なる稜線の南斜面とだき山(1,420m)から傾山へ南北に連なる稜線の西斜面で、五ヶ瀬川流域の北部に位置する当地区は、花崗岩、流紋岩及び砂岩が分布する急峻な斜面からなっており、稜線部分を主体に大半が祖母傾国定公園である。

祖母山周辺から傾山を経て鹿川越に至る稜線部周辺は、森林生態系保護地域を設定し、また、鬼の目山(1,491m)周辺は生物群集保護林を設定している。

稜線部分の天然林を主体として設定されている保護林等の区域は、自然環境の保全・形成を図ることが期待されていることから「自然維持タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、本地区は、ほぼ全域が水源かん養保安林に指定されており、山地災害防止機能や水源かん養機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

イ 五ヶ瀬地区（2081～2083、2085～2091林班）

二上山(1,082m)の北西及び南東斜面、諸塚山(1,342m)の北及び東斜面、大仁田山(1,316m)の西側尾根沿い、揺岳(1,335m)の北斜面及び小川岳(1,542m)から白岩山(1,647m)にかけての東斜面は流域の西部に位置し、急峻な斜面からなっている。

当地区の大部分は、五ヶ瀬川の源流域であり、水源かん養保安林に指定されており、山地災害防止機能や水源かん養機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、二上山には希少個体群保護林、向坂山にはヒューマングリーンプランによる向坂山野外スポーツ林を設定している。一方、小川岳から木浦山にかけての稜線は、生物群集保護林を設定し、2090林班と2091林班の一部は、九州中央山地国定公園に含まれている。こうした自然環境の保全・形成及び保健文化機能の発揮が期待されている区域については、「自然維持タイプ」及び「森林空間利用タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項

① 山地災害防止タイプにおける管理経営の指針その他山地災害防止タイプに関する事項

山地災害防止タイプの面積

(単位：ha)

区 分	山地災害防止タイプ		
		うち、土砂流出・崩壊 防備エリア	うち、気象害防備 エリア
面 積	<u>5,890</u>	<u>5,890</u>	—

③ 森林空間利用タイプにおける管理経営の指針その他森林空間利用タイプに関する事項

森林空間利用タイプの面積

(単位：ha)

区 分	森林空間利用タイプ	
		うち、レクリエーションの森
面 積	<u>301</u>	<u>115</u>

2 国有林野の維持及び保存に関する事項

(3) 特に保護を図るべき森林に関する事項

① 保護林

種 類	箇所数	面積(ha)
森林生態系保護地域	1	2,947
<u>生物群集保護林</u>	<u>2</u>	<u>505</u>
<u>希少個体群保護林</u>	1	21
総 数	<u>4</u>	<u>3,473</u>

4 国有林野の活用に関する事項

(1) 国有林野の活用の推進方針

① レクリエーションの森

種 類	箇所数	面 積 (ha)
野外スポーツ地域	1	115
総 数	<u>1</u>	<u>115</u>

第4次国有林野施業実施計画書

(五ヶ瀬川森林計画区)

(第3次変更計画)

計画期間

自	平成26年4月	1日
至	平成31年3月	31日

(平成30年3月変更)

九州森林管理局

国有林野施業実施計画の変更について

[変更理由]

保護林制度の改正について（平成27年9月28日付け27林国経第49号林野庁長官通知）により保護林の種類及び名称が変更されたこと、また、レクリエーションの森が廃止されたことに伴い、国有林野管理経営規程（平成11年1月21日農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき、変更するものである。

なお、本変更計画の効力は、平成30年4月1日より生じる。

1. 現行計画（平成26年3月策定、平成27年3月変更、平成28年3月変更、計画期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日）の変更内容
 - （1）「5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域」の「（1）保護林の名称及び区域」を上記理由により変更する。
 - （2）「6 レクリエーションの森の名称及び区域」を上記理由により変更する。

目 次

5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	2
	(1) 保護林の名称及び区域	2
6	レクリエーションの森の名称及び区域	2

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
森林生態系保護地域	祖母山・傾山・大崩山周辺	既設	保存地区 822.40 保全利用地区 2,124.50	別冊「祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域計画書」のとおり	別冊「祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域計画書」のとおり
生物群集保護林	九州中央山地	既設	38.14	2089れ1、そ2090つ、2091へ	太平洋型ブナ林がある程度のまとまりをもって分布し、一部に湿性立地に発達するブナ林が見られ、希少な野生動物植物が生息・生育している。また、堆積岩及び石灰岩が主体をなし、特に石灰岩地においては他の地域に見られない特異な植物が生息している。
	鬼の目山	既設	467.22	2015い、2016い〜と、2017い、ろ、2018い〜よ、れ1、そ、2019へ〜り、ぬ1、る、わ	老齡天然スギ、アカマツ、ヒメコマツ、ブナ、ツチビノキ、アカシデ、アケボノツツジ等の保存のため。
希少個体群保護林	二上ケヤキ	既設	21.08	2081る	ケヤキ優良天然木の保存のため。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
野外 スポ ーツ 地 域	向 坂 山	既設	114.74	2089か～よ、 つ、ね 2090い～い4	ブナを主体とした天然林の自然美と冬季の積雪多さから冬期にはスキー、それ以外の季節には登山、ハイキング等の利用に好適なため。	育成単層林へ導くための施業	スキー場	無	
				2089わ1		育成複層林へ導くための施業			
				2089わ2、た、 れ、れ3、 な 2090ろ、は1、 ほ5、か、 れ、そ、 ね～ら		天然生林へ導くための施業			
				2089イ		林地以外の土地			

